

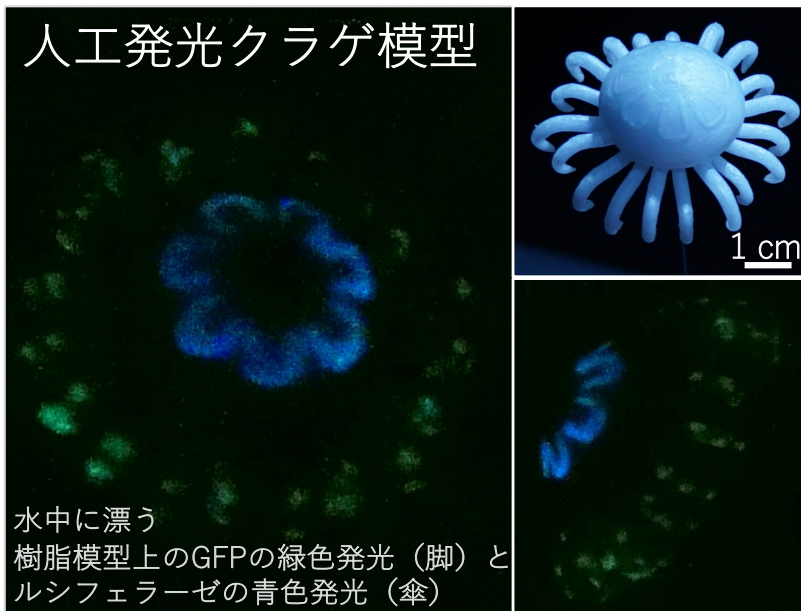
“常温◎” “乾燥◎” “高精度” “簡単” “安価”
『紙』に抗ウイルス抗体や発光タンパク質などを
固定化して、保管・活用する技術群

星野英人（ほしのひと） 生体分子創製研究グループ

POINT

1. 真贋評価・管理のためのセキュリティ印刷用インクの基礎技術
2. 新型コロナウイルス感染を短時間で簡便に検出検査の基礎技術
3. 新型コロナウイルス粒子を選択的に捕捉するフィルターの基礎技術

人工発光クラゲ模型



既成概念を覆す、タンパク質の新しい活用法

保有技術群（例えば『人工発光クラゲ模型』では）
●GFPの自発的緑色発光技術（BAF）
●任意タンパク質のキチン/セルロース素材表面への
選択的な配向固定技術（-C-Link）
●-C-Linkタンパク質のインク化技術
●樹脂表面上へのセルロース薄膜展開技術 etc…
“開発者のみが有する未発表技術”も盛り沢山！！
発想次第で組合せいろいろ、活用法もいろいろ。

主な研究業績

- Hoshino et al, *Nature Methods* 2007, 4:637-639
- 特許第5283105号
- 特許第5828488号

